資生堂企業 CM の日中比較研究
—「一瞬も一生も美しく」の CM を事例に —

張　文　婷

Abstract

This paper examined and compared the Japanese and Chinese editions of Shiseido's corporate commercials, trying to find differences between the two editions in the expressions of female beauty. The results of analysis are shown below:

In the Japanese edition of Shiseido's commercials there is a fusion of 1) western beauty with 2) pure submissive beauty.

The Chinese edition seems to have 3) powerful western beauty, 4) consciousness of the traditional beauty and 5) glamorous beauty that is accompanied by the male gaze.

キーワード……　資生堂 CM　企業 CM　美意識　日中比較

1　はじめに

テレビ CM において、我々が最も接する頻度が高く、熟知しているのが、企業宣伝のための「企業 CM」と商品を売るための「商品 CM」である。そして、そのどちらも文化価値と深く関連付けられている。真鍋（2006:9）は、「文化」という視座はきわめてプロミシングなものであり、その概念はますます重要性を持つようになっていると説き、「ポストモダンの時代」の到来という社会的な背景のもとにさらなる進展を遂げていくだろうと予測している。さらに、真鍋は、そうした大きな時代の変化を最も敏感に反映するものこそが広告であるとし、広告を文化論的な視座から研究することの重要性を呈示した。ここで重要なのは、「広告による意味伝達は、異文化理解の手段としても機能しうる」（堀内:2006:39）ことにたどりつき、異文化間の広告比較は自らの文化的意味と相手の文化的意味を知ることに繋がるということである。そして、化粧品企業は国ごとに戦略を練り、その国独自の美意識に合わせた方向性を展開しているため、それぞれの美の文化的意味を推し量ろうとするのが本論文の目的である。

一方、時代の最先端をゆく美を一番現している化粧品企業は他業界と同様、商品 CM を多く制作し発信していると思われるが、企業 CM も企業のイメージを知る上では必要不可欠なステップとなる。化粧品に関わる企業 CM を分析し、訴求内容が特定の商品ではなく、企業全体の方向性を察知することが美の潮流を読み取ることに繋がると考察する。

日本と中国の両国において、広く知られ、そして最も人気高い化粧品会社が資生堂であり、

その企業 CM を制作している唯一の化粧品会社でもある。この論文では、主としてこの資生堂の企業 CM を介して、資生堂が日本と中国の女性たちの美の潮流を熟知した上で、それをどのように吸収し、表現し、影響を与えようとしているのかを研究することで、両国における新たな美を創造していく方向性を探ろうとするものである。

2　コーパスと方法論

本論文でコーパスとして選定したテレビ CM は資生堂の企業宣伝 CM の日本版と中国版である。同じく資生堂の CM でありながら、日本版を元に制作された中国版は異なった切り口で宣伝を試みている。宣伝商品は両 CM で異なっているが、本論文では企業 CM 自体を分析対象としているため、それについては敢えて触れないこととする。

2005 年 5 月に資生堂はコーポレートメッセージを「一瞬も一生も美しく」に変え、一瞬の美しさの積み重ねによる一生の美しさの実現を目指していた。新しいメッセージには「顧客と資生堂をつなぐブランドを磨くことにより、お客さんが「一瞬も一生も美しく」あり、末永く愛用してもらうブランドとなるように目指す」（史:2007:249）という目標が掲げられてあるようだ。 翌年の 2006 年には「新しい私になって」というメッセージを CM に託し、社会に発信しアピールしてきた。その 2 年後、中国ではコーポレートメッセージを「一瞬之美、一生之美」として同様に企業宣伝 CM を完成させた。企業メッセージは基本的に同様であるが、CM は日中では異なっている。これは、そもそも、日本版の「一瞬も一生も美しく（この一瞬も、これからの長い一生も美しくありたい)」と中国版の「一瞬之美、一生之美（一瞬之美は一生之美である)」というコーポレートメッセージから生じた微妙なニュアンスの違いによるものだろうか。

この時の日本版「新しい私になって」は失意の中の女性がスキンケア商品で肌を整えているうちに、心にも潤いが満たされていき、最後には鏡に向かい微笑んで元気を取り戻すというストーリーである。中国版「红色蜜露长大」は落胆した女性が赤い衣装を身に纏う女の子を見て、母親のことを思い出し、スキンケア商品で肌を整えていくうちに、母親の温もりを感ずるようになり、心が満たされていくストーリーである。また、一年後の 2007 年に第 2 作として日本版では「あなたのキス」、2010 年に中国版では「White Lucent 光芒」を発信した。それぞれ両版の CM の「一瞬の美しさも一生の美しさも実現する」ことを目指す企業理念は同じでありながら、CM ストーリーの方向性は異なっている。第 2 作となったこの企業 CM は第 1 作と同様、化粧品が前半の失意から後半の蘇生へと繋いでくれる役目を果たす。日本版の「あなたのキス」では、男性にキスされ、戸惑いを隠せない女性が洗面所へと駆け込み、不安に押しつぶされそうになりながらも、口紅をつけていく過程でだんだん自信を取り戻していくストーリーである。また、「White Lucent 光芒」では、結婚式を目前に控え、不安、戸惑い、喜びが交差する中、スキンケア商品を肌に滑らせることで、安心と自信へと心境変化していくストーリーである。本論文では、この第 2 作の相違が生じてくるプロセスを映像分析及び深層構造分析することによ

って、主人公の女性の美がどのように引き立てられたかを追究したい。

分析方法は主として高田（2010）の技法を参考とする。高田は、視聴者の内部に存在する「欲望」、「欲求」の多くは、広告によって喚起され、醸成されたものであると述べる。（2010:236）だとすれば、企業側の意図を察知し、究明することが大切となってくる。高田が物語構造分析で紹介した技法の中で、今回の CM 分析に必要な手法は、シークエンスの抽出、対立関係の抽出、対立軸の抽出、比喩の同定、深層構造図などである。しかし、企業側が意図して創造した女性の美しさを読み取るには、深層分析だけでは不十分であり、映像と言語も詳しく分析する必要があると思われる。映像分析では、デイヴィッド・ボードウェル他（2007）の分析方法を参考に、映像のミザンセンとフレーミングの分析をする。そして、言語分析では、映像以外の部分（ナレーション、歌、字幕）を言語化して分析することとしたい。また、主人公分析として、年齢、服装、プロポーション、髪型、顔、職業、登場場面設定、雰囲気などのコーディング項目に分けて分析する。これらの分析技法の相互作用・相互影響を考察することで、両 CM の表現形式の相違点をピックアップし、どのような形で視聴者に女性美をアピールしようとしているのか究明する。

3　「あなたのキス」と「White Lucent 光芒」の深層構造比較分析

資生堂は 2006 年から 2010 年にかけて、日本と中国にそれぞれ 4 本の企業 CM を作った。その第 2 作となった「あなたのキス」と「White Lucent 光芒」をここで分析することにする。

3-1 主人公のコーディング項目分析

初めに CM に登場してくる主人公の属性や特徴などについて分析を行う。「主人公コーディング項目別分析」は、日本版の「新しい私になって」と同様、「年齢、服装、プロポーション、髪型、顔、職業、登場場面設定、雰囲気」の項目に分けて考える。第 2 作目は第 1 作目と同じ人物を使用しているが、物語性が大いに異なっている。では、なぜ第 2 作目でも共通の主人公を取り扱い、どのような演出をすることでどんな雰囲気を作ろうとしているのかを検証していく。

日本版の「あなたのキス」では華奢な身体に、やや面長だが小さく見える顔、凹凸のある横顔、二重の大きな目、鼻筋の通った鉤鼻、女性らしい柳眉に仰月型の薄唇が主人公の特徴である。膝丈のグレーのスカートに白のブラウスといった組み合わせは人々に清楚なイメージを与える。髪型は、前髪を横に流し、後ろ髪を下ろすヘアスタイルとなっている。

中国版の「White Lucent 光芒」ではどうなのか。まっすぐに揃う前髪、丸顔、くっきり二重瞼の吊り目、やや団子鼻、仰月型の口である主人公を登場させる。ヘアスタイルは前髪をまっすぐに下ろし、のちに横に流す。そして、後ろ髪を結うか上げるかにしている。服装は純白のワンピースのあとに、赤いリボンを腰に巻くウエディングドレスを着ている。顔のみ見ると、

可愛らしい雰囲気が漂うが、8 頭身のプロポーションを持つスタイルとある。以上を整理したものが図 1 となる。

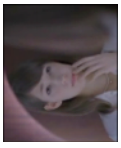
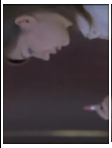
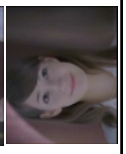
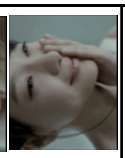
テレビCM		日本の「あなたのキス」		中国の「White Lucent光芒」	
項目		記述要素	映像	記述要素	映像
年齢		20代（アメリカ人と日本人の混血）		20代	
服装		膝丈のグレーのスカート 白のブラウス		純白のワンピース 白のウエディングドレスに赤いリボン	
プロポーション		肩幅が狭く、手足が長い、長身痩せ型		肩幅が狭く、手足が長い、長身痩せ型	
髪型		ロング。茶髪。 前髪を横に流し、後ろ髪を下ろす。		ロング。黒髪。 前髪をまっすぐに下ろし、のちに横に流す。 後ろ髪を結うか上げるかにしている。	
顔	顔の形	卵型やや長めの顔立ち		丸顔	
	眉	細い丸みを帯びている柳眉		少し太めの清秀眉	
	目	奥二重の垂れ目		円な瞳にくっきり二重、吊り目	
	鼻	筋の通った鉤鼻		やや団子鼻	
	口	口角が上がっている仰月型		口角が上がっている仰月型	
職業		不明		不明	
登場場面設定		洗面所		部屋	
雰囲気		ほのぼの、落ち着いた、やわらかい、ときめく、日常		なだらか、ゆっくり、穏やか、感動、希望	

図1 「あなたのキス」と「White Lucent光芒」の分析比較表

主人公コーディング項目別分析の考察は以下となる。日本版の「あなたのキス」の主人公女性の服装は、白いブラウスにグレーのスカートという正装だが、モノトーンである。この組み合わせは人々に清楚なイメージを与えると思われる。そして、前髪を斜めに流し、後ろ髪を下ろしたままにしているのは、普段、我々の周囲を見回しても、髪を下ろしている女性が多いように感じる。これは、東洋人の髪の本数は西洋人に比べて少なく太いため、髪質が硬く直毛になりやすいため、下ろしている方が楚々とした従順な女性という印象を醸し出しやすい。しかし、茶色に染められた髪色は西洋に対する憧れを物語る。以上で示したように、日本の女性に対する審美観は、西洋に対する憧憬美と独自の美文化の融合したところに、現代の日本の美的感覚が存在する。

中国版の「White Lucent 光芒」の主人公女性の属性と特徴はどうなのか。主人公女性が身につけている大きな赤いリボンを巻いたウエディングドレスといった服装が、普段の生活から少々逸脱したものとなっているように思われる。ここでは、主人公女性のくびれたウエスト、美しいヒップ、スリムな身体、スラリとした長足を強調したいからではないだろうか。

以上から、楚々とした清楚なイメージで満ち溢れている「あなたのキス」の主人公女性の特徴に比べ、「White Lucent 光芒」の主人公女性はセクシーさを兼ねた大人の魅力を発散させているところに両 CM の主人公女性の美的差異が生じている。

3-2　CM の映像分析と言語分析

まず、日本版の「あなたのキス」の映像のフレーミングに注目してみる。この CM のカメラアングルでは、水平アングルで被写体を撮影していく。カメラ位置は 7 カット目の主人公女性の前から撮影する以外は左から撮っている。カメラ距離はミディアム・クロースアップかクロースアップから構成される。これに対し、中国版の「White Lucent 光芒」は、ハイ・アングル、水平アングル、ロー・アングルを交互に使用し、カメラ位置は主人公女性を軸にほぼ全方向から撮り、カメラ距離においては、全身が映るロング・ショットから顔を近距離から覗くクロースアップまで展開をみせる。

次にミザンセンでは、日本版の「あなたのキス」はハイキー・ライティングまたはフロント・ライティングで、全体的にピンクがかっている世界を表象し、中国版の「White Lucent 光芒」では、フロント・ライティングとバックライティングを組み合わせ、白みがかった色調を使用することがそれぞれ多く見られた。

言語分析では、日本版の「あなたのキス」の物語性は歌詞から把握することができる。ナレーションは最後のコーポレートメッセージ以外は皆無である。浮かない表情をして化粧室に駆け込んだ女性に、疑問を抱いたところで、「笑ってないで 答えてよ わたしで何番目のキスですか」という歌詞が流れるとともに、ここで女性がなぜ元気を失ったのか直ちに理解できる。そして、恋愛を中途半端なままでは終わらせたくないと、すっきりした表情を見せたところに、

「でもそんなことどうでもいいの あなたのことが好き あなたのことが好き 思いが私を変えてゆく」と決心し、元気を取り戻していく過程がわかる。日本版の「あなたのキス」では、歌詞がそういった恋愛のときめき感をリアルに説明してくれる。

一方、中国版の「White Lucent 光芒」の言語分析ではどうだろうか。分析表からわかるように、ストーリー性を主として説明してくれるのはナレーションである。歌詞はその補助役として果たす。まず、ナレーションの「还记得第一次看见你 放学后我在路边等车 你从远处走来（初めてあなたに出会った時 放課後私がバスを待っていた あなたが遠くから歩き寄ってきた)」の説明から、主人公女性と結婚式を控えた新郎となる人との出会いが明確となる。そして、「月光下的你白皙动人 我怦然心动 这一刻我知道你就是我人生中一百年也不会变的一个人（月の光の下で、あなたの白く透き通る肌が際立ち、私は心を奪われた この瞬間、あなたが私の一生で百年間変わらない人になる)」新郎は主人公女性にどう心を奪われたかを綴る。それまでは不安に押しつぶされそうになった女性の表情が次第に期待へと変わっていったのは、二人の恋愛が未熟から成熟までへと到達していく過程をフラッシュバックしたことに由来することをナレーションが呈示する。詳しくは表 1 から表 4 までを参照。

表1 「あなたのキス」の映像分析表

カット	time	シーン	小見出し	フレーミング			ミザンセン		シーンの言語化		比喩種類	対立
				アングル	位置	距離	照明	色調	表層修飾語句	表層名		
1	0:00	化粧室	化粧室に入る	水平	左前	ミディアム・ロング・ショット	バックライティング	赤みがかっている	化粧室に入る	女性		
									溜め息をつく	女性		E
2	0:06		鏡の中の自分を見つめる		左後	ミディアム・クロースアップ	ハイキー・ライティング	ピンクがかっている	鏡を見る	女性		
									浮かない	表情		B
									明るい	肌		
									暗い	室内	隠喩	C
									明るい	ライト	隠喩	c
									唇に触れる	手		
									泣きそうな	目		A
									切ない	目		A
3	0:18		口紅を取り出す		左前		フロント・ライティング	白みがかっている	カバンの中の	口紅		D
									取り出される	口紅		D
									開けられる	口紅		
4	0:22		口紅を見つめる		真左		ハイキー・ライティング	ピンクがかっている	口紅を見つめる	目		
									悲しい	表情		B
									不安になる	目		E
5	0:33		唇に口紅を塗る		左後				唇に塗られる	口紅		
									擦り合わせる	唇		
									唇を見つめる	目		
6	0:43		唇に口紅を塗る			クロースアップ	フロント・ライティング	白みがかっている	重ね塗りする	口紅		
7	0:46		口紅をしまう		前	ミディアム・クロースアップ			カバンに戻される	口紅		d
8	0:48		笑顔になる		左後		ハイキー・ライティング	ピンクがかっている	鏡の中の自分を見る	女性		
									いきいきとした	目		a
									自信のある	目		e
									笑顔になる	女性		b
									明るい	表情		
9	0:56											
10	0:59											

表2「あなたのキス」の言語分析表

カット	time	シーン	小見出し	語り	字幕	歌詞	シーンの言語化		比喩種類	対立
							表層修飾語句	表層名詞		
1	0:00	化粧室	化粧室に入る			笑ってないで　答えてよ	笑ってないで	あなた		F
							答えて	あなた		F
2	0:06		鏡の中の自分を見つめる			わたしで何番目のキスですか？	何番目になる	私		f
							キスされる	私		f
							キスする	あなた		F
3	0:18		口紅を取り出す			でもそんなことどうでもいいの あなたのことが好き	好かれる	あなた		F
							好きになった	私		f
4	0:22		口紅を見つめる							
5	0:33		唇に口紅を塗る			あなたのことが好き 思いが私を変えてゆく	思いを変える	私		f
6	0:43		唇に口紅を塗る							
7	0:46		口紅をしまう							
8	0:48		笑顔になる							
9	0:56			一瞬も一生も美しく	一瞬も一生も美しく					
10	0:59			SHISEIDO	SHISEIDO					

表3「White Lucent光芒」の映像分析表

カット	time	シーン	小見出し	フレーミング			ミザンセン		シーンの言語化		比喩種類	対立
				アングル	位置	距離	照明	色調	表層修飾語句	表層名詞		
1	0:00	外	爆竹が鳴る	水平	正面	ミディアム・ショット	フロント・ライティング	灰色がかっている	赤い	爆竹		A
									鳴らされる	爆竹		
									上がる	煙		
									赤い	建物		A
2	0:02	部屋	ドレスを見つめる		背後	ミディアム・ロング・ショット		ピンクがかっている	白い	ドレス		a
									赤い	切り紙		A
									白い	化粧品		a
									白い	花		a
									白い	壁		a
									ドレスを見つめる	女性		
3	0:07		化粧台の前に座る			ミディアム・ショット	バックライティング	白みがかっている	座る	女性		
									鏡を見つめる	女性		
4	0:10		鏡を見つめる		左後	ミディアム・クロースアップ	フロント・ライティング		浮かない	顔		B
									憂鬱な	目		C
									顔に添える	手		
									不安になる	目		D
5	0:13		肌を整える	ロー	左前	クロースアップ			肌を整える	手		
6	0:15		乳液を出す	ハイ	左上		トップ・ライティング	ピンクがかっている	白い	乳液		a
7	0:17		乳液を塗る	水平	左前		フロント・ライティング	白みがかっている	手で受け止める	乳液		
8	0:19			ロー					手で顔に付ける	乳液		
9	0:21			ハイ					穏やかな	表情		c
10	0:24		首までスライド	水平	左後	ミディアム・クロースアップ			期待に満ち溢れる	目		d
									首までスライドさせる	手		
									鏡の自分を見つめる	女性		
11	0:26		見上げる		左前	クロースアップ			笑顔になる	女性		b
									見上げる	女性		
12	0:29		カーテンと切り紙と鏡			ミディアム・クロースアップ			遠くを見つめる	女性		
									白い	カーテン		a
13	0:30		ドレスを着て歩く		真左	ロング・ショット			靡く	カーテン		
									赤い	帯		A
									ドレスを着た	女性		
									白い	窓		a
									歩いく	女性		
									白い	髪飾り		a
14	0:34		揺れるドレス			クロースアップ	バックライティング	青みがかっている	赤い	家具		A
									揺れる	ドレスの裾		
15	0:36		ドレスの全体像を確認		左後	ミディアム・ロング・ショット	フロント・ライティング	白みがかっている	赤い	グラス		A
									全身を見つめる	女性		
16	0:40		笑顔になる	ハイ	右上	クロースアップ			幸せそうな	表情		b
									涙を浮かべる	目		
17	0:47		振り向く	水平	背後	ミディアム・クロースアップ			振り向く	女性		
									希望に満ちた	表情		d
18	0:52		去っていく		左後	ミディアム・ショット			ドレスを着た後姿の	女性		
19	0:57											
20	0:58											

表4 「White Lucent光芒」の言語分析表

カット	time	シーン	小見出し	語り	字幕	歌詞	シーンの言語化		比喩種類	対立
							表層修飾語句	表層名詞		
1	0:00	外	爆竹が鳴る	SHISEIDO	SHISEIDO	回到过去 看见你天使般的笑容 （過去を振り返ると、あなたの天使のような笑顔を思い出す）	振り返される	過去		E
							思い出される	あなた（女性）		F
							あなたの	笑顔		F
2	0:02	部屋	ドレスを見つめる		演唱：陈乃荣					
3	0:07		化粧台の前に座る	还记得第一次看见你 （初めてあなたに出会った時）		天真的 眼神中露出一丝骄傲 （無邪気の眼差しには微かな自慢が見えた）	思い出される	初対面		E
							バスを待つ	私（男）		f
4	0:10		鏡を見つめる	放学后我在路边等车 （放課後、私がバスを待っていた）			無邪気の	あなた		F
							微かな	自慢		
							見ている	私		f
5	0:13		肌を整える			记忆里 你那清脆开怀的笑声 （記憶の中であなたの清らかな笑い声が響き渡り）	記憶の中の	あなた		F
6	0:15		乳液を出す	你从远处走来 （あなたが遠くから歩き寄ってきた）			清らかな	笑い声		g
							響き渡る	笑い声		g
7	0:17		乳液を塗る				遠くからくる	あなた		F
8	0:19					失落时的失声痛苦 （失意の時の泣き崩れた姿がある）	失意の	あなた		F
9	0:21			月光下的你白皙动人			泣き崩れた	姿		G
10	0:24		首までスライド	我怦然心动 （月の光の下で、あなたの白く透き通る肌が際立ち、私は心を奪われた）		我忘不了你眼神中的光芒 那是最美丽的期望 （あなたの眼差しの光を忘れることができなく、それが最も美しい期待となった）	月の光の下の	あなた		F
							白く透き通る	肌		
							心を奪われる	私		f
11	0:26		見上げる				忘られない	眼差し		
12	0:29		カーテンと切り紙と鏡				変わらない	百年間		
13	0:30		ドレスを着て歩く				変わらない	あなた		F
14	0:34		揺れるドレス				私の	一生		f
15	0:36		ドレスの全体像を確認	这一刻我知道你就是我人生中一百年也不会变的一个人 （この瞬間、あなたが私の一生で百年間変わらない人になる）			永遠に	純真無垢		
							取り出す	鉛筆		
16	0:40		笑顔になる			拿出画笔描绘曾经的记忆和芬芳放开手张开翅膀 （絵筆を取り出し、かつての記憶と芳香を描写する。手を放し、翼を広げて）	かつての	記憶		E
							描写される	記憶と芳香		
17	0:47		振り向く	永远纯净如初 （永遠に純真無垢のままに）			放される	手	隠喩	
							広げられる	翼	隠喩	
							この瞬間の	今		e
18	0:52		去っていく	一瞬之美，一生之美 （一瞬も一生も美しく）	一瞬之美，一生之美 （一瞬も一生も美しく）	我忘不了你眼神中的光芒 那是最美丽的期望 （あなたの眼差しの光を忘れることができなく、それが最も美しい期待となった）				
19	0:57				资生堂					
20	0:58			SHISEIDO	SHISEIDO					

以上の映像分析と言語分析から、日本版の「あなたのキス」の映像のフレーミングにおいて、ある一定の距離から水平にカメラを回していたことが多いことが明らかとなった。一方、中国版の「White Lucent 光芒」はさまざまな角度から覗きこみ、主人公女性を上または下からクローズアップすることで、あたかもカメラ自身が男性の目線となったかのように、女性の性的な魅力を発散する。

ここで、源馬（2000:598）が分析した「エリザベス・アーデン」という化粧品広告を同様に分析する。その広告写真には黒いセクシードレスを着た西洋の若い女性が、高層ビルの窓ガラスを鏡代わりに自分を映し、口紅で美しく変身した自分の姿に見惚れているのだが、カメラの目線は彼女のセクシーな背中と鏡に映し出された性的唇に集中する。彼女の誘惑する視線は鏡を通してカメラに反映されるが、あたかも見る側に色仕掛けしているかのようだ。

女性の美は男性の視線を意識する中で形成されていくものであるとすれば、中国版の主人公の肉感的なセックスアピールはカメラ技法（男性に見つめられる視線）によって浮き彫りになってくる。日本版はエロティックな美を引き出すというより、水平アングルというより自然体であどけない可愛らしさが賞賛的に見つめられることになる。

ミザンセン分析を通して、日本版の「あなたのキス」ではハイキー・ライティング或いはフロント・ライティングでピンクがかっている世界を、中国版の「White Lucent 光芒」ではフロント・ライティングとバックライティングを駆使し、白みがかった世界をそれぞれ表象していたことが明確となった。日本版はコントラストの明暗をピンクのモノトーンで描く辺りが、女性の「ほのぼのとした」、「やわらかな」、「落ち着いた」、「ときめく」現実味のあるイメージを顕在化させる。そして、中国版は白みがかった世界に穏やかなコントラストを作り、「穏やか」な雰囲気を構造し、また次第に光を拡散させることで「感動」、「希望」に満ちた女性を表象する。

言語分析では、「あなたのキス」が歌詞、「White Lucent 光芒」がナレーションの役割をそれぞれ発揮し、主人公が綺麗になっていく過程を説明していく。日本版の「あなたのキス」では、キスをされ戸惑いの中、化粧室で口紅を塗っていくうちに次第に落ち着きを取り戻していく過程を歌詞が物語る。こうして世の女性たちは恋を通じて成長し、美を手に入れることを説得するかのようである。一方、中国版の「White Lucent 光芒」では、これから結婚式を控えている女性が相手との出会いを振り返る過程をナレーションが詳述する。「永遠に純真無垢のままに」というフレーズのように、恋の出会いから恋の成熟へ、そして、これからも美を持続的に保ち続けていく。資生堂のコーポレートメッセージ「一瞬も一生も美しく」のように、「美」というものは、「いま」の自分を絶えず磨き、「未来」の自分へと引き渡すものである。そうして、自分の中で昔から今、そして未来へと永遠に続いていくべきものであることを表象する。

3-3　深層構造分析

物語の前半と後半で女性の表情から背景の色まで対照的となっているため、多くの対立要素を抽出できると思われる。そして、唇または肌が次第に満たされていき、気持ちが改まるまでに「化粧品」が深く関連する。この境界線をめぐって、どのような対立関係が存在し、またそれらが、どのような意味を持つのかについて分析を行う。

3-3-1 「あなたのキス」

まず、物語の連鎖パターンを見つけ出すことを目的としたシークエンスの抽出を行う。
この CM のシークエンスは、1 つのシーンからなり、①化粧室に飛び入る／②鏡に映る自分を見つめる／③手で顔を抑える／④口紅を取り出す／⑤口紅を塗る／⑥重ね塗る／⑦鏡に映る自分を見つめる／⑧口紅をしまう／⑨鏡に映る自分を見つめる／⑩笑顔になり自信を取り戻す、といった流れになる。

シークエンスの抽出分析からわかるように、「鏡に映る自分を見つめる」と「口紅をつける」という連鎖パターンが見つかり、主人公女性は「口紅」を重ねつけることで、「鏡」を通して自分を再確認し、生まれ変わってゆく。

次に、口紅をつける前後の関係性から対立する要素を抽出していく。ここでは、映像分析表及び言語分析表のシーンの言語化を参考とする。主人公女性の恋心に戸惑いが生じ、その気持ちが落ち着くまでに、女性の表情、その周囲の付加的な要素も含めてどのように作用しているのかを分析する。言語分析より抽出した「Ff」の「笑ってないであなた、答えてあなた、キスするあなた、好かれるあなた」と「何番目になる私、キスされる私、好きになった私、思いを変える私」と対立した「あなた（男性）」と「私（女性）」の項目から主人公女性の情緒的、動揺している様子が浮き彫りとなってくる。

【対立関係】

泣きそうな目、切ない目（A）　⇔　いきいきとした目（a）
浮かない表情、悲しい表情（B）　⇔　笑顔になる女性（b）
暗い室内（C）　⇔　明るいライト（c）
カバンの中の口紅、取り出される口紅（D）　⇔　カバンに戻される（d）
溜め息をつく女性、不安になる目（E）　⇔　自信のある目（e）
笑ってないであなた、答えてあなた、キスするあなた、好かれるあなた（F）
⇔　何番目になる私、キスされる私、好きになった私、思いを変える私（f）

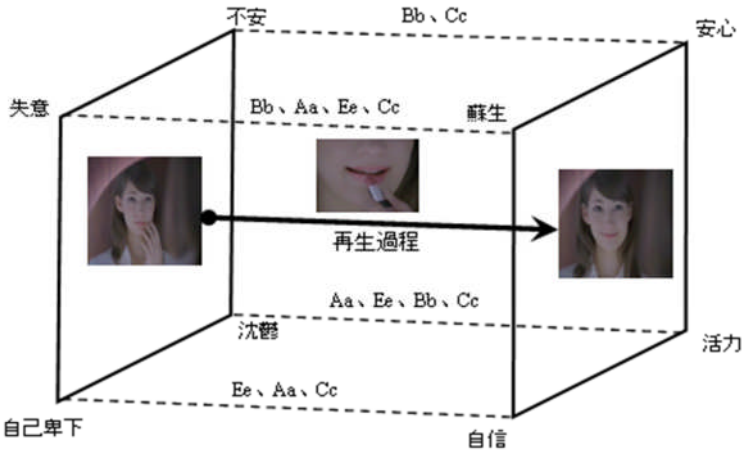
対立関係の抽出から、主人公女性の変化に合わせて、人物以外の諸要素も変化を遂げていることがわかる。「Ff」では「あなた」が男性であり、「私」が主人公女性である。男性が優位な位置にあり、女性は受動的な位置にあることを表す。そして、多くの対立関係を抽出できたところで、次のように 4 つの対立軸にまとめていく。

【対立軸の抽出】

Bb、Cc	不安　⇔　安心
Aa、Ee、Bb、Cc	沈鬱　⇔　活力
Ee、Aa、Cc	自己卑下　⇔　自信
Bb、Aa、Ee、Cc	失意　⇔　蘇生

最後に、分かりやすく構築したのが次の深層構造図となる。図の左側が戸惑いを隠せない女性を表し、右側に到達するにつれて、次第に落ち着きを取り戻していくことを表示している。そして、再生過程において役割を果たしているのが口紅である。

【深層構造図】



左側の失意の女性から右側の蘇生する女性へと移るまでに、「口紅」をつけることを通じて美の再生過程がなされる。女性が失意する原因は恋愛が実らず、女性の内的未成熟によるものである。女性の美しさはあたかも男性に征服され、その力の範囲内に収まっているかのようだ。詳しくはのちほど中国版と比較させながら論じることとする。

3-3-2 「White Lucent 光芒」

中国版の「White Lucent 光芒」のシークエンスも 1 つのシーンからなり、その抽出は次のようになる。①爆竹が鳴る／②ドレスを眺める／③鏡の中の自分を見つめる／④肌を手で押さえる／⑤乳液を塗る／⑥肌を手で押さえる／⑦表情が穏やかになる／⑧首までスライドさせる／⑨笑顔になる／⑩ドレスを着て歩く／⑪鏡の中の自分を見つめる／⑫顔を押さえる／⑬幸せに包まれる。

ここでも、活気のない女性が化粧品を通じて蘇生を取り戻していくストーリーとなる。このシークエンスの抽出分析からわかるように、「鏡に映る自分を見つめる」と「(化粧水をつけ)肌を手で押さえる」の連鎖パターンが見つかり、主人公女性は「化粧品」を重ねつけることで、「鏡」を通して自分を再確認し、生まれ変わってゆくといった点は日本版と共通している。

次に対立関係の抽出を行い、女性が不安から安心へと変化した様子をとらえる。女性の表情以外に、不安を感じているときは部屋が暗く、安心を抱くようになっていくと明るいライトを使用するといった女性の心の変化に応じて周囲の環境も変化していることがわかる。また、言語分析から対立している項目で、「Ff」の「思い出されるあなた、あなたの笑顔、無邪気なあなた、記憶の中のあなた、遠くからくるあなた、失意のあなた、月の光の下のあなた、変わらないあなた」と「バスを待つ私、見ている私、心を奪われる私、私の一生」では、「あなた」は女性であり、「私」は男性である。主人公を演じるのは女性であるが、ナレーションでは「男性である私」が語っていることがわかる。ここでも、女性の美は男性と深く関わっていることがうかがえる。

【対立関係】

赤い爆竹、赤い建物、赤い切り紙、赤い帯、赤いグラス、赤い家具（A）
　⇔　白いドレス、白い化粧品、白い花、白い壁、白い乳液、白いカーテン、白い窓、白い髪飾り（a）
浮かない顔（B）　⇔　笑顔になる女性、幸せそうな表情（b）
憂鬱な目（C）　⇔　穏やかな表情　（c）
不安になる目（D）　⇔　期待に満ち溢れる目、希望に満ちた表情　（d）
振り返られる過去、思い出される初対面、かつての記憶（E）　⇔　この瞬間の今（e）
思い出されるあなた、あなたの笑顔、無邪気なあなた、記憶の中のあなた、
遠くからくるあなた、失意のあなた、月の光の下のあなた、変わらないあなた（F）
　⇔　バスを待つ私、見ている私、心を奪われる私、私の一生（f）
泣き崩れた姿（G）　⇔　清らかな笑い声、響き渡る笑い声（g）

ここでは、「あなたのキス」と反対に、「あなた」が主人公女性で、「私」が男性であるという対象人物が真逆になっている。女性は男性に見守られ美しくなっていくことから、男性が女性をよい方向へ誘導していることがうかがえる。

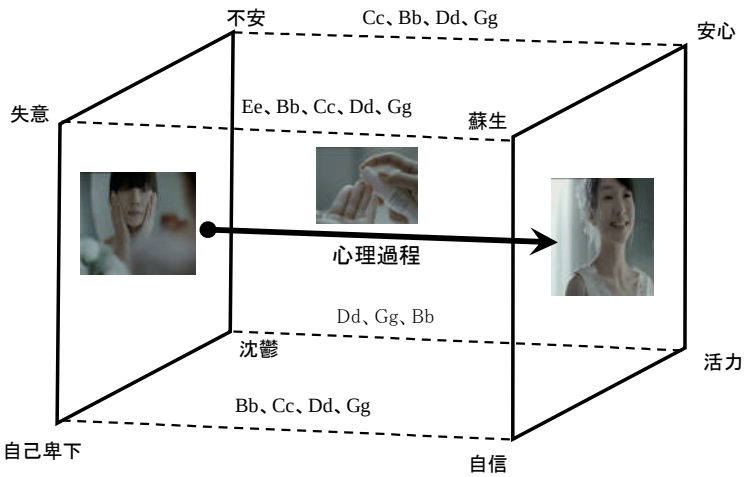
続いて、対立関係より抽出した諸要素を次の対立軸にまとめる。

【対立軸の抽出】

Cc、Bb、Dd、Gg	不安　⇔　安心
Dd、Gg、Bb	沈鬱　⇔　活力
Bb、Cc、Dd、Gg	自己卑下　⇔　自信
Ee、Bb、Cc、Dd、Gg	失意　⇔　蘇生

そして、次の深層構造図を作成すると、左側では浮かない顔をする女性が右側へ推移するにつれて、笑顔を浮かべる女性へと変わる。そうした成長の背景には男性との出会いから始まるフラッシュバックによるものであり、心理作用が大きく働くこととなる。

【深層構造図】



この CM でも左側は恋愛において不安を感じる時の女性を描き、右側では安心を取り戻すまでに、主人公の心情を表すものから細部の外部要素まで前半と後半とで対立を構築する。化粧品というものを通じて美の再生過程がなされる。そして、そうした美の再生過程のコアに属する部分が恋愛の成熟ということになり、日本版の恋愛の未熟とは対照的であるといえる。

ここで日本の「あなたのキス」と中国の「White Lucent 光芒」の 2CM では、一方では、恋の未熟を表象し、他方では恋の成熟を物語る。恋愛の未熟でも恋愛の成熟でも女性の美に資することができるという結論に帰結する。そもそも、日本版では恋愛の未熟という場面設定にしたのは、あどけなさが残る楚々とした心優しく従順な女性を表現し、男性を能動的、女性を受動的といった権利関係からも、そんな美を合わせ持つ女性を日本で好む傾向が強いからではないか。ひるがえって、中国版の恋愛の成熟という物語展開は、男性に見守られ、誘導されながら、自分を再確認していく、芯が強くスマートでグラマラスな美を備えた女性を中国が好むからであろう。

4　本論文のまとめ

これまでに日本の CM を 1 本と中国の CM を 1 本、計 2 本の資生堂の企業 CM を分析し、考察を行ってきた。それぞれの CM から両国の文化的または社会的背景により女性の美において異なる美的価値観を持っていることが明らかになった。

日本版の CM「あなたのキス」からは、①西洋美と融合した美、②男性の視線が内在化された楚々とした従順な美 に大きくまとめることができると考察する。そして、中国版の CM「White Lucent 光芒」からは、③西洋美と力感に溢れた美、⑤伝統を意識した美、⑥男性の視線が伴うグラマラスな美に分けることができる。

まず、「あなたのキス」CM の登場人物マイコを通して、垣間見える日本的な美的感覚の一つに、①西洋美と融合した美があるということである。彼女の外見美を中心に分析した「主人公のコーディング項目別分析」では、若い女性をモデルにその場面に合う服装を着せる。外出する際に適した清楚な服装を身につける。髪型は部屋の中では前髪を上げ、後ろ髪を纏めるが、外出の際は前髪を斜めに流し、後ろ髪を下ろしている。これに関しては、髪質の問題と文化価値が関係してくる。東洋人の髪質は西洋人と比べ、硬く少なく、また東洋人の間でも「可愛い文化」を重視してきた日本のヘアスタイルであるといえる。髪の毛を下ろし、前髪があったほうが、可愛く楚々した優しく従順の女性であるという印象が強い。しかし、主人公の髪色は東洋人生来の黒髪ではなく、西洋に対する憧れの表象である茶色である。そこに、西洋に対する憧れと自国独自の美を生かした審美観を感ずる。

また、主人公のプロポーションは、肩幅が狭く、手足の長い、長身痩せ型であり、顔面部をみると、やや長めの顔立ち、柳眉、奥二重瞼の大きい垂れ目、鉤鼻、仰月型の薄唇である。古来、平安時代では痩せ型よりも少しふくよかの方が美の基準とされてきた。しかし、その後、欧米文化に次第に影響され、痩せた方が美人であるとされ、現在に至る。と同時に、一重瞼から二重瞼、小さい目から大きい目へと美意識が進化した。しかし、鉤鼻と小さく薄い唇は、昔から変わらない美的価値観ではないだろうか。そして、やや長めの顔立ちでも顔が大きく見えないのは、頬骨が目立たないため、小顔に見せる一因となるだろう。これは、アメリカ人と日

本人の混血である主人公マイコが合わせ持つ独特の顔立ちであろう。そして、彼女は柳眉と垂れ目であることからは愛嬌のある女性らしさを表す。このように、日本独自の美文化と西洋への憧憬美の融合が彼女の髪と顔に凝縮されている。

②男性の視線が内在化された楚々とした従順な美という内面的な美を引き出したのは、まずフレーミング分析からである。ある程度固定したカメラアングルと距離を通して、より自然体でやわらかい清楚な印象を出そうとする。CM「あなたのキス」において、歌詞の役目が発揮され、恋愛の未熟さを物語る。そうした中、恋愛の未熟さの中での葛藤が深層構造図により鮮明に表象されることとなる。映像中の外部的要素と主人公の心境まで深層構造図の左側と右側に対立要素として分かれる。そのコアにある部分が恋愛の未熟であり、主人公女性の立場は受動的な位置に置かれている。特に「あなたのキス」では、男性の視線を意識した、男性の力の範囲の中に収められながら、美の修復過程をしていく。そうした資生堂の設定意図は、可愛く楚々とした心優しく従順な内面的美を持つ女性が美しいという美的価値が日本に存在するためではないだろうか。

次に、中国版の CM「White Lucent 光芒」の共通主人公モデル常春暁について言及したい。まず、③西洋美と力感に溢れた美について述べる。中国版の主人公も日本と同様、妙齢の女性を使用している。しかし、一見大差のない 2 人だが、外見的要素は大きく異なってくる。「あなたのキス」の服装は楚々としたイメージを与え、「White Lucent 光芒」の服装は高級感と力感が溢れている。プロポーションと顔を詳細に分析した結果、頭部が小さい長身スリム型である。日本版の CM に登場した主人公に比べ、2 人の体重はそれほど変わらないが、中国版の常春暁は日本のマイコより 7cm も高いようだ。常春暁の方は 8 頭身により近いプロポーションであるといえる。また、彼女は前髪を下ろし、丸く小さな顔、円らな瞳にくっきりした二重瞼、団子鼻、仰月型の口である辺りは人形のような可愛らしいイメージを与えると同時に、その愛くるしい顔に最後では力感溢れた力強さが感じられる。このように、プロポーションと顔の美的基準を考えると、日本より西洋美に対する憧れが強いことがうかがえる。そうした西洋的美と社会的に独立した凛々しい美の両方を備えた女性を中国では美的基準とするのであろう。

④伝統を意識した美に関しては、「White Lucent 光芒」の CM のナレーションから読み取れ、「恋人との思い出」を鮮明にフラッシュバックし、現在の美は昔から継承されてきたものであることを物語る。恋人から自分の美を再認識させられ、さらなる美への追求が未来へと繋がる。また、赤は CM において重要なキーポイントとなり、伝統美を語る上で不可欠な要素となる。「White Lucent 光芒」では、赤い爆竹、赤い切り紙、赤い置物、赤い建物、腰に巻かれた赤いリボンなどといったように、伝統的な美は赤によって守られ、継承されていく。赤は女性美をもっともよく表す色であり、特に中国人はこの色に対して特別な感情を抱き、昔から民間の慶事を祝う際に欠かせないものであることは前述した。そうした背景から、赤を強調する傾向が強く見られるのは、西洋的なプロポーションや顔を持ちつつも、伝統的な文化を取り入れた美

が女性美をより補強する重要な一要素であるといえる。

⑥男性の視線が伴うグラマラスな美については、中国版の CM では水平アングルやほぼ一定した距離よりもハイ・アングルとロー・アングルまたは、遠近法を用いた距離を使用することで、女性の身体をエロティックに描写していく。「White Lucent 光芒」ではナレーションの声と歌の声が男性であるということからも、男性に身体が見つめられていることを呈示してくれる。また、ヘテロセクシュアリティに纏わったストーリーであり、日本版の CM が恋愛の未熟を表象しているならば、中国版の CM は恋愛の成熟を演出していると理解することができる。恋愛を通して女性は成長していくというプロセスを深層構造図が示す通りである。そして、恋愛の未熟でも恋愛の成熟でも女性の美を助長することに帰し、恋愛の成熟の方が、スマートでグラマラスな美を引き出す。そう設定した資生堂の意図には、そのような女性美が中国で好まれているからと考えることができる。

＜参考文献＞

高田明典（2010）『物語構造分析の理論と技法』大学教育出版

真鍋一史（2006）『広告の文化論』日経広告研究所

デイヴィッド・ボードウェル、クリスティン・トンプソン（2007）『フィルム・アート』名古屋大学出版会

堀内圭子（2006）「消費者の「広告経験」と文化」真鍋一史編『広告の文化論』日経広告研究所

堀内圭子（2006）「広告から見えてくる文化－食品・飲料の雑誌広告を通じて」真鍋一史編『広告の文化論』日経広告研究所史樺（2007）「グラーバル経営とコーポレート・コミュニケーション:資生堂を事例として」『人間社会環境研究』Vol.13 pp.245-258

張文婷（2011）「化粧品コマーシャルの日中比較―資生堂企業コマーシャルの映像論的・言語論的側面からの考察」『現代社会文化研究』第 50 号

源馬英人（2000）「鏡像のオリエンテーション：広告メッセージの社会的機能」『言語文化』
2－4　pp.597－634

主指導教員（佐々木充教授）、副指導教員（逸見龍生准教授・北村順生准教授）